

20の リレートーク



坂本朝美さん
東京都在住
(草野出身)

◆理想人、只今検索中!

私は高校を卒業し、すぐ消防の世界に入りました。ちょうど今日は一当番後の朝です。昨日は火災に3回出動しました。火災に出動した、といっても私は燃えている火の中に入り、消火する役割ではなく、活動方針などの指示を出す大隊長の補佐役として出場しています。

正直、消防士として早や2年が経とうとしている今でも分からないことばかり

で、困惑の日々を送っています。

しかし、恥を恐れて、失敗を恐がっているだけでは、いつまでも成長しない自分のままであり、毎日が不安なのは変わらないでしょう。働き出し、晴れて成人を迎えた私ですが、理想人を今だ検索中です。今後、生涯学習。我以外皆師であることを忘れず、打たれ強く積極的に生きていきたい。そして、あらゆる人の良い店を吸収したい。そして将来どんな人間になれちゃうのでしょう!

今は不安の多い私ですが、年の確認もない中、私はすごい消防士になれるような気がしています。乞うご期待です。

自信過剰・勘違いも時には大切ですよね。



「分権・分散型とは」

今、役場の中は合併問題であわただしい毎日を送っています。村民の皆さんは、もちろんそれ以上に村の行く末を心配される毎日でしょう。

現在、飯館村は、合併した場合の新しい計画の中で第1番目の柱になっっている「分権・分散型合併」ということに村の命運をかけ、その実現のため、努力しているところです。

さて、「分権・分散型」とは一体どういうものなのかおわかりでしょうか？簡単に言えば、今までのようにはいかないが、ある程度縮小した中で、これまでとそう変わりない行政・事業が進められ、飯館村独自のうごきが、できる形ということになります。

これは、合併の最大の目的であ

る「合理化」と相反するようですが、これからの時代、外に向かって区域を拡大する時は、内の自治を充実すべきであり、内側の自治を充実しないまま外側に区域を広げることは、すなわち寂れることになりません。

ですから、村にとって合併に向かうのにはどうしてもこの仕組みが、絶対に必要なのです。

しかし、この考え方が他の市町も完全に理解している状態かといえば、そうでもありません。したがって、これから議会や合併協議会の委員の方々とあらゆる努力を払ってこの村の思いを達成してもらおうようにしなければなりません。その基礎となるのが、各市町村に作られる「地域自治組織」です。

それは、飯館村にかなりの「権限」と「財源」「職員」があるということなんです。

大変厳しい道のりですが、何となくも成し遂げる覚悟をもって毎日働いています。

平成16年2月27日

飯館村長 菅野 典雄